

**2 (2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)**

**特筆すべき教育活動**

本研究科の教育活動の中で、以下の3つが特筆に値する教育活動として挙げられる。

1. 高度環境政策・技術マネジメント人材養成ユニット(平成17～21年度振興調整費)

社会人学生が在宅で学習できるe-Learning教材を多数制作し、ISTUによって学生の利用に供している。俯瞰的な環境教育、マネジメントとビジネス教育、OJT、VPPの導入が特徴となっている。

2. RESD (Regional Environment & Sustainable Development) プログラム

日中韓の著名大学から優れた後期課程学生を選考し、夏季にそれぞれの大学に所定期間滞在させ、徹底的な環境教育を行う。学生間ネットワーク構築と、大学間の緊密な連携が実現しつつある。

3. ヒューマンセキュリティ国際連携プログラム (学内4研究科連携プログラム)

環境、医療、食糧、文化の各視点より、人間の安全保障について英語で教育する留学生対象のプログラムであり、ユニークな視点と学内の教育連携が大きな特徴になっている。

**特筆すべき研究活動**

本研究科を構成する教員は、地球工学、材料科学、化学・バイオ工学、地理学、経済学、東洋史、文化人類学等を個別フィールドとし、「環境」を共通の研究対象とした活動を展開している。これらを組み合わせた特徴的な研究教育拠点を構築するために、環境科学創成経費、研究ユニット、若手研究者奨励賞等の仕組みを用意するとともに、グローバルCOEや科学技術振興調整費の申請を積極的に行っている。平成17年には「地圏環境インフォマティクスのシステム開発と全国展開」が採択に至り、地図情報システムと地圏汚染情報を組み合わせた情報システムを構築し、土地開発等に提供している。このような研究成果が評価され、平成20年には基幹講座教員が科学技術部門での文部科学大臣表彰、国土交通大臣賞を受賞している。

**特筆すべき社会貢献活動等**

当研究科では、平成15年の設立以来、社会貢献には特に注力してきた。一般市民を対象として環境問題の本質と技術を紹介する環境フォーラムの開催(過去16回開催)、市民と技術者を対象として、より深く環境技術を紹介する環境技術シンポジウム(過去4回開催)、県民を対象にして、4週にわたって最新の研究成果を分かりやすく解説するみやぎ県民大学(過去22回開催)、小中学校の生徒に環境の授業を提供する出前授業(過去17回開催)など、多くの公開講座を実施している。

また、平成16年に宮城県と協力協定を締結し、相互の交流会を毎年開催すると共に、県の環境生活部から講師を研究科に派遣してもらい、環境行政に関する講義「環境法と環境政策」を開講している。加えて、本研究科の目標であった地域連携環境・エネルギー研究教育センターを、平成20年に宮城県、仙台市、東北経済連合会との連携により、設立する運びとなっている。本センターでは、地域環境問題等に関する研究と教育を、産官学で連携して実施すると共に、環境に関する地域シンクタンクとして機能させることが主たる目的である。